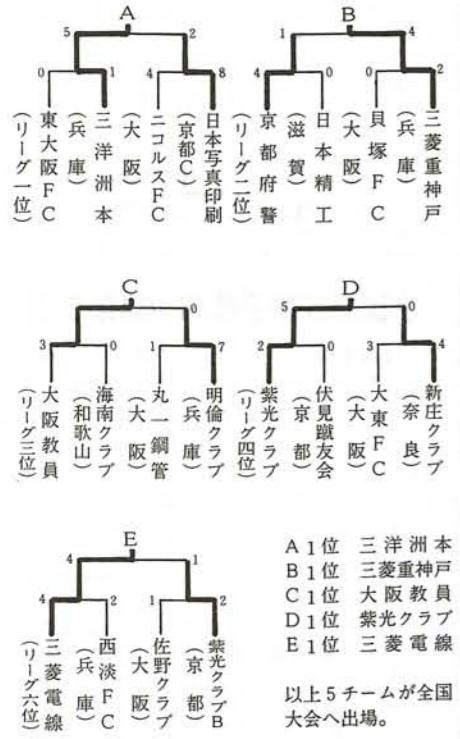


三菱神戸 全国大会へ 三洋洲本

第23回全国社会人選手権大会出場5チームを決定する関西予選は、8月2、9、23日と、万博球技場、大陽ヶ丘B、久御山の各グラウンドで20チームが参加して行われた。

兵庫県からは4チームが出場したが、そのうち三菱重工神戸がBブロックで関西リーグ2位の京都府警を4-1と破り、Aブロックでリーグ1位の東大阪FCを1-0とくだして勝ち進んだ三洋電機洲本とともに全国大会へ駒を進めた。

第23回全国社会人選手権大会関西予選



〔高校〕

8月2日 東地区 於御影工高
講師: 郷山、山田、小坂、村上ほか
8月9日 西地区 於神戸高塚高
講師: 阪本、谷口、辺見、林(隆)、村田
8月16日 中地区 於神戸甲北高
講師: 榎原、丸山、林(啓)、林(泰)、
村上

〔中学〕

7月26日、27日 於灘中
講師: 丸山、阪本、谷口、林(隆)、藤田
林(啓)、小坂、村上

〔少年〕

6月20日 中地区 於蓮池小
講師: 森川、郷山、山本
7月4日 東地区 於灘神戸生協生活文化
センター
講師: 一北、大木
7月19日 西地区 於高倉会館
講師: 郷山、村田

▶ルール改正

~本年度競技規則の改正について~
本年度の競技規則の改正については、日本協会の機関誌「サッカー」、各種研修会、講習会などを通じて、各チームにお知らせすることになりますが、スローインに関して重要な変更点がありますので、とりあえずその骨子のみを解説いたします。その他の改正点など詳細については、日本協会の通達を参照して下さい。

本年度の改正で大きなものは、第15条スローインの公式決定事項に「ボールがタッチラインを越えた地点以外の場所から行われたスローインは正しく行われたスローインとは認められない」という項の追加です。

これにより『正しくない場所で行われたスローインは、今までは正しい場所からやり直していたが、この改正によってこれはファールスローとなり、相手側チームのスローインになることになった。こうしたファールスローをおこさせないように、タッチラインからボールが出た場合には、主審と審議は協力して、正しいスローインの位置を動作、笛、声などで競技者に早く明確に示す必要がある。

また競技者もその指示に従って正しい場所から早くスローインを行うようにしなければならない。(日本協会審判委員会の解説より引用)』ということになります。

日本リーグや関西学生リーグでは、この新ルールがすでに適用されていますが、神戸市協会主催の大会での適用時期はあらためてお知らせいたします。
サッカー協会の事務所に永年勤務しておりました須原恵子さんが7月末をもって退職されました。その後任として8月17日より、小西敏子さんが着任しましたのでお知らせします。
これまでサッカー協会の事務所に職員の勤務している時間帯が月曜から土曜までの週6日間で1時から6時までとなっていましたが、今後は、水曜と日曜は休みとし、12時より、6時までの勤務と変りました。

これは、サッカー関係者が協会に連絡する際に会社や学校の昼休みにできるようにとの配慮からですが、その代りに水曜を休みにすることになりました。

サッカー協会の職員の給料はサッカー会館運営資金として加盟チームからの分担金でまかなわれているため多くは支払えません。のために、一日の勤務時間を1時間長くした分、週6日勤務だったのを5日にするといった方法をとりました。

今後の協会事務の円滑な運営のため、今回の変更を十分ご理解下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

審判委員会よりお知らせ……No.3

スローインのルールが 大きく変わりました

▶活動報告

7月から8月にかけて、高校生・中学生対象のラインズマン講習会が行われ、高校123名、中学136名を公認した。また、少年のラインズマン講習会も6月20日から7月19日にかけて実施された。

有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9
阪神御影駅南側西へ30m
☎078(412)2601

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5-26
高速大開駅東
☎078(576)0870

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店
ブレザーショップ・トアロード店
ドルチェ・マック・センター街店
☎078(391)0895
☎078(391)0896
☎078(332)0141

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山
☎078(453)2186

スマーラ

湊川店 湊川プラザ2階
鈴蘭台店 ダイエー西側
☎078(511)2234
☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8
J R 元町駅南側東へ100m
☎078(392)0234

サッカーショップPKF

中央区下山手通3丁目3-10
☎078(332)5519

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3
阪神深江駅北側信号西
☎078(453)2186

総理大臣杯神戸開催

62年度総理大臣杯全日本大学トーナメントが8月25日から29日まで神戸中央球技場、ユニバーシアード記念競技場、王子競技場の3会場で開催され熱戦が展開された。

大会前の予想では地元大阪商大と慶應大、筑波大が優勝候補にあげられていたが関西代表は全く準々決勝まで敗退し決勝は順天大が筑波大に2-1と快勝し、2度目の優勝をとげた。

総理大臣杯全日本大学トーナメントは今回で11回目だが、1回から5回までは静岡県で開催され、6回から関西地区で開催されるようになった。主に大阪市で開催されていたが昭和59年には神戸市で開催した。この時はユニバーシアード神戸大会を次の年にひかえて大会のムードを高めるねらいから、特に神戸開催を日本協会や大学サッカー連盟にお願いしたのだが、今回の神戸市開催には大学サッカー連盟の強い希望があったようだ。

それは何よりも、神戸中央球技場やユニバーシアード記念競技場のような、素晴らしいグラウンドがあるからだ。今後もこれらの競技場を舞台にレベルの高い試合が数多く見られるようになると思われるが、神戸、兵庫のサッカー・ファンが一人でも多くグラウンドに足を運び競技場が観衆で満員になることがより高度のゲームをますます多く開催する原動力になると思われる。

来年は総理大臣杯大学トーナメントだけでなく、全国高校総体も開催されます。ぜひサッカー・ファンは連日各会場につけかけて、観戦して下さい。

神戸市協会理事長 一北四郎

サッカー協会事務職員交替

サッカー協会の事務所に永年勤務しておりました須原恵子さんが7月末をもって退職されました。その後任として8月17日より、小西敏子さんが着任しましたのでお知らせします。

これまでサッカー協会の事務所に職員の勤務している時間帯が月曜から土曜までの週6日間で1時から6時までとなっていましたが、今後は、水曜と日曜は休みとし、12時より、6時までの勤務と変りました。

これは、サッカー関係者が協会に連絡する際に会社や学校の昼休みにできるようにとの配慮からですが、その代りに水曜を休みにすることになりました。

サッカー協会の職員の給料はサッカー会館運営資金として加盟チームからの分担金でまかなわれているため多くは支払えません。そのため、一日の勤務時間を1時間長くした分、週6日勤務だったのを5日にするといった方法をとりました。

今後の協会事務の円滑な運営のため、今回の変更を十分ご理解下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

神戸市社会人運営会議予定

次回 11月12日㈭

11月19日、18時30分から神戸市立勤労会館4階会議室。社会人リーグに参加している各チームの代表者は必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



ユハイム

中学生クラブチーム日本一を争う第2回全日本クラブ・ジュニア・ユース選手権大会は、8月1日から5日まで、長野県白馬村で行われた。決勝戦は兵庫県予選の決勝と同じ兵庫FC対神戸FCの顔合せとなり、兵庫FCが1-0で神戸FCを破って見事初優勝を飾った。

兵庫FCは決勝トーナメント1回戦で優勝候補の筆頭読売SCを阪本らのスピードある攻撃で4-1と下し、準決勝ではイーグルスユナイテッドをPK戦で下して決勝に進出した。

一方、神戸FCも古河FCを4-0、三菱養和を2-0と下し、大会無失点で決勝進出を果した。

近年は関東の日本リーグ勢が企業から独立したスポーツクラブとなり、選手育成も自前で行なうようになった。このため素質のある好選手が、好環境の企業クラブに集まりつつある。神戸でもそのような環境の整備を急ぎたいものである。



写真提供 サッカーマガジン

神戸市の両雄で決勝、兵庫FCが老舗新星 第2回 日本クラブジュニアユース選手権大会

▶決勝 (8月5日、白馬村)

兵庫FC 1 {0-0} 0 神戸FC

これは夢ではない。地区予選を勝ち抜いた全国の精鋭が集まるれっきとした全国大会の決勝に、大会前の予想をくつがえして神戸市内の2チームが進出したのである。

一つは、読売、日産、古河、三菱、ヤマハといった日本リーグ1部にトップチームを持つ企業がバックについているクラブ。

もう一つは、兵庫、神戸、愛知、交野といった地域社会に根ざしたクラブである。西日本にはこういったタイプのクラブが多く、東日本には企業主導のクラブが多い。トップが日本リーグに所属するクラブのジュニアチームのセレクションには、今年300人~500人の子供達が追いかけてくる。これらの選手は将来プロ選手を夢見る子供も少なくない。その中からコーチは優秀なタレントを発掘し、磨き上げなければ良いのである。地域の社会体育クラブではそうはいかない。今回の兵庫、神戸両クラブの活躍は、そういう視点で見れば、実にさわやかであった。

今年の白馬は高校生年代の全国クラブユース選手権も同時に開催された。残念ながら神戸FCユースは上位に進出することはできなかった。来年度は兵庫FCもユースチームを結成することになっている。社会人のチームもすでに活動を始めており、兵庫の永浜監督も少年から大人まで一貫した指導環境を作りたいと意欲を燃やしている。わが神戸FCユースも来年度以降は新規手続きを考え、海外遠征をも含めて再強化を考えている。私たちクラブサッカーが神戸、兵庫のサッカーのレベルアップに役立てば、これほど嬉しいことはない。

サッカー界発展のための組織、サッカーそれが自体の組織、それがクラブサッカーだと考えている。

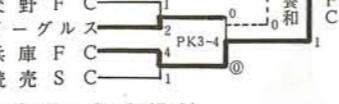
う快足ぞろい。『来年はこの中から一人か二人はトップチームに登録できるかも』と鍵本ユース監督。

日産ユースが初優勝

62年度 全日本クラブユース選手権

昭和62年度全日本クラブユース選手権大会は、8月1日から6日まで長野県白馬村で開催された。参加したのは、東西両予選を勝ち抜いた12チームで、4チームずつ3組の一次リーグの後、上位8チームで決勝トーナメントを戦った。その結果、雨中準決勝で、読売を再延長の末PK戦で勝ち進んだ新鋭日産が、決勝戦でも三菱養和を2-1で下し初優勝を飾った。

日産はユース創設2年目ながら、さすが日本リーグ1部にトップチームを持っているだけあって、よく鍛えられていた。トップチームと同じ戦法で守り、ラインディフェンスでオフサイドトラップを多用した。レギュラーのほぼ全員が、50メーター走で6秒前半とい

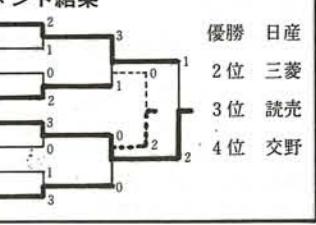


(一次リーグの記録略)

サッカーそれ自体の組織

それがクラブ・サッカー

日本クラブジュニアユース連盟理事
神戸フットボールクラブ事務局長
加藤 寛



全国高校 滝川第二 総体 準決勝へ進出

昭和62年度全国高等学校総体サッカー競技は8月2日から室蘭市入江運動公園を中心に行われた。

兵庫県代表滝川第二は初戦を4対0で突破してから健闘し、岐阜工、南宇和、光星学院と降して準決勝へ進出した。3対1と敗れたが相手の市立船橋が決勝で強豪国見を破って優勝したことを考えると、滝川第二の活躍は兵庫のサッカーが全国大会での一回戦、二回戦の壁を突破はじめ、より上位を望めることを実証し、自信を持たせてくれた。

▷準決勝（8月7日、入江運動公園競技場）
滝川第二 1 { 0-0 } 3 市立船橋



県民体育大会 兼赤川杯 神戸市選抜V

第41回兵庫県民体育大会兼赤川杯、県内高校支部選抜対抗戦は8月10日、11日ユニアード記念競技場サブ・グラウンドで、県下5支部代表の高校選抜チームに中学選抜を加えて行われた。グループリーグ1位で上位トーナメントに進出した神戸市選抜が阪神を2対1、西播を2対0とくじで優勝した。

第41回兵庫県民体育大会兼赤川杯 結果

▷グループリーグ戦

Aグループ	東播	阪神	淡路	勝	分	負	勝点
① 東播		△0-0	0-0	1	1	0	3
② 阪神		△0-0	○2-0	1	1	0	3
③ 淡路	×0-5	×0-2		0	0	2	0

▷上位トーナメント

東播 0 (0-1) 1 西播 神戸 3 (1-0) 1 阪神
神戸 2 (1-0) 0 西播 東播 1 (4PK) 1 阪神

旋風起こしベスト4

62年度全国高校総体は「はばたけ若人、北の大地に」のスローガンのもと北海道各地で開催された。サッカーは室蘭市で8月1日開会式、2日から一回戦が開始された。大会中は異常低温と雨で、ゲームも半袖では寒いぐらい。もちろん夜は長袖、ジャージ、そして厚い掛布団が離せない生活だった。

我々はベスト8達成を目指して7月30日現地入りした。さっそく北海道第一代表の室蘭高と練習試合を行い5対0と快勝。さわやかな大気の中で体がよく動き思わず快調さに、「やれそう」とリラックスできた。翌日から準々決勝まで毎日雨にならうとは誰が予想しただろうか。

▷一回戦（2日、室蘭東高）対高岡工芸高 立ち上り堅かったが、15分CKから小世のヘッディングシュートで先制すると、あとは一気にたたみかけ勝利。牧野がハットトリック。

▷二回戦（3日、室蘭工高）対岐阜工 選手権の借りを返そうと全員燃えたが、岐阜工もGK下川を中心によく動く好チーム。

中盤でのキープ力にややまつたが予断を許さない。一瞬もボールから目を離せない好ゲームを展開した。後半18分、牧野のセンタリングで藤田がダイビングヘッドで合わせてやっと1点もぎとる。これを守りきって見事に雪辱を果たす。

▷三回戦（4日、入江運動公園）対南宇和 このブロック最強とみられた南宇和に対し確実にキープする作戦がうまくあたり展開はスローペース。牧野の右足で先制したが、追いつかれ延長にもつれ込んだが、滝二のペースは終始かわらず延長後半再び牧野の右足が爆発し念願のベスト8入りを果たす。

▷準々決勝（5日、入江運動公園）対光星学院 浦和西を倒して波にのる青森光星と対戦。ともにベスト8は初めてというフレッシュな対決となった。前半5分FKから失点。連日の雨でボールがよくすべるところをうまく利用された。しかし、すぐ藤田のシュートで追いついた。しかし、その後も大きく跳って走る光星のペースで進んだ。やっと後半25分、木村秀のロングシュートをキーパーがはじき、そこを藤田が鋭く詰めて勝ち越し。歓喜のベスト4進出となつた。

▷準決勝（7日、入江運動公園）対市立船橋 6日の休息日は洞爺湖観光に当てて完全休養。この日の午後からやっと太陽が顔を出し北海道の空気を充分吸って勝ち残った収穫をおおいに味わった。64国体に備えて新装なった陸上競技場のスタンドには8,200人の観客が陣どる。さすがにサッカーの町といわれる室蘭。天気も快晴、舞台は申し分なし。前半は優勢に攻めながら0対0、絶対に1点欲しかった。後半5分、CKから広本が頭であわしてゴール。これに対して市立船橋は開き直つて猛攻に出た。滝二は守りの気持ちが早過ぎた。船橋のペースを伸々崩せない。14分、中盤のFKからヘッドで折り返され追いつかれた。21分センターリングがDFの足に当たり方向が変わってゴールインという不運な2点目で逆転される。終了5分前に総攻撃に出た。追いつくチャンスもあったが逆にカウンターで終了5秒前に3点目を決められて終わった。

惜しい試合を落としたが、兵庫県勢初の総体ベスト4進出を果した選手の健斗に大きな拍手を送りたい。

ここまで試合ぶりは内容（技術、戦術、精神力）も充実しており、近年の兵庫の少年サッカーの力を全国に發揮できたといえる。ベスト4進出の原動力は個人技をもとにした多彩な攻撃があげられるが、不安だった守備陣の頑張りが大きい。これをきっかけにさらに上位をざして頑張りたい。

大会参加にあたり援助、助言いただいた関係各位にお礼申しあげます。（黒田）

充実のモルテン Tango

モルテン® Official Cow-hide Selected Cow-hide Made in Japan

株式会社 モルテン
広島 / 東京 / 大阪 / 名古屋 / 福岡 / 札幌

第42回国体 兵庫少年1位 近畿地区大会 成年と共に本大会へ

第42回国民体育大会は沖縄で行われるが、2府4県の代表を決める近畿地区大会が、8月28、29、30日と神戸総合運動公園競技場と神戸市中央球技場で開催された。その結果少年の部では兵庫が1位で、成年の部では兵庫が滋賀をくだしてそれぞれ本大会出場を決めた。

第42回国体近畿地区大会 成績報告

1. 少年の部 神戸総合運動公園

Aグループ	兵庫	大阪	和歌山	勝	分	負	勝点
① 兵庫	○1-0	○3-0	2	0	0	4	
② 大阪	×0-1	○5-0	1	0	1	2	
③ 和歌山	×0-3	×0-5	0	0	2	0	

Bグループ	滋賀	京都	奈良	勝	分	負	勝点
① 滋賀	○1-0	△0-0	1	1	0	3	
② 京都	×0-1	○3-1	1	0	1	2	
③ 奈良	△0-0	×1-3	0	1	1	1	

2. 成年の部 神戸中央球技場

代表決定戦

京都	大阪	奈良	和歌山	勝点
③ 京都	○2-1	○3-1	○3-1	6
④ 大阪	×1-2	○2-1	○5-0	4
⑤ 奈良	×1-3	×1-2	○3-1	3
⑥ 和歌山	×1-3	×0-5	×1-3	0

3. 1位決定戦 兵庫 2 (2-0) 1 滋賀

3~6位グループ

京都	大阪	奈良	和歌山	勝点
③ 京都	○2-1	○3-1	○3-1	6
④ 大阪	×1-2	○2-1	○5-0	4
⑤ 奈良	×1-3	×1-2	○3-1	3
⑥ 和歌山	×1-3	×0-5	×1-3	0

4. 第42回国体近畿地区大会 成績報告

2. 成年の部 神戸中央球技場

京都	大阪	奈良	和歌山	勝点
③ 京都	○2-1	○3-1	○3-1	6
④ 大阪	×1-2	○2-1	○5-0	4
⑤ 奈良	×1-3	×1-2	○3-1	3
⑥ 和歌山	×1-3	×0-5	×1-3	0

5. 第42回国体近畿地区大会 成績報告

1. 少年の部 神戸総合運動公園

兵庫	大阪	和歌山	奈良	勝点
① 兵庫	○1-0	○3-0	2	0
② 大阪	×0-1	○5-0	1	0
③ 和歌山	×0-3	×0-5	0	0

6. 第42回国体近畿地区大会 成績報告

2. 成年の部 神戸中央球技場

京都	大阪	奈良	和歌山	勝点
③ 京都	○2-1	○3-1	○3-1	6
④ 大阪	×1-2	○2-1	○5-0	4
⑤ 奈良	×1-3	×1-2	○3-1	3
⑥ 和歌山	×1-3	×0-5	×1-3	0

7. 第42回国体近畿地区大会 成績報告

1. 少年の部 神戸総合運動公園